4-412-942-**01** (1)

データ
プロジェクター

取扱説明書

VPL-SW535
VPL-SX535

機種の中には、国・地域によって販売されていないものがあります。 ソニーの相談窓口に確認してください。

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書と付属の簡易説明書をよくお読みのうえ、
製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、
いつでも見られるところに必ず保管してください。

目次

はじめに

準備

映像の投写と画面の調整

メニューで行う調整と設定

ネットワーク機能

その他

各部の名前と働き

本体

❶ 投写窓

❷ リモコン受光部

❸ ON/STANDBY インジケーター（36 ページ）

❹ LAMP/COVER インジケーター（36 ページ）

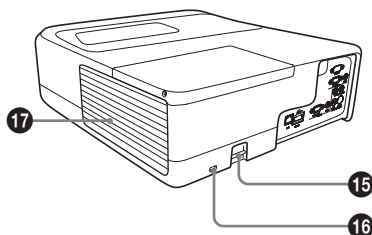
❺ フォーカスリング（14 ページ）

❻ レンズシフトダイヤル V（14 ページ）

❼ レンズシフトダイヤル H（14 ページ）

❽ ズームレバー（14 ページ）

❾ ランプカバー（41 ページ）

❿ 本体ボタン部（5 ページ）

⓫ 接続端子部（4 ページ）

⓬ スピーカー

⓭ エアーフィルターカバー／吸気口（43 ページ）

⓮ アジャスター（15 ページ）

⓯ 盗難防止用バー

市販の盗難防止チェーン（ワイヤー）などを取り付けることができます。

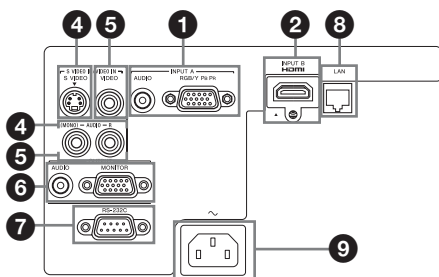
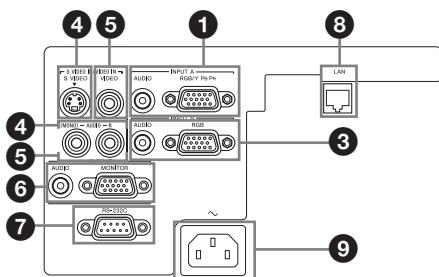
⓰ 盗難防止ロック

Kensington 社製の盗難防止用ケーブルを取り付けることができます。詳しくは、Kensington 社のホームページをご覧ください。
http://www.kensington.com/

⓱ 排気口

⚠警告

排気口、吸気口をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。また、排気口付近に手を近づけたり、変形しやすいものを置いたりしないでください。やけどや変形の原因になることがあります。

接続端子

VPL-SW535

VPL-SX535

入力（8、9 ページ）

❶ 入力 A（INPUT A）

映像：RGB ／ Y PB PR 入力端子（RGB ／ Y PB PR）

音声：音声入力端子（AUDIO）

❷ 入力 B（INPUT B）（VPL-SW535 のみ）

映像：HDMI 入力端子（HDMI）

音声：HDMI 入力端子（HDMI）

❸ 入力 B（INPUT B）（VPL-SX535 のみ）

映像：RGB 入力端子（RGB）

音声：音声入力端子（AUDIO）

❹ S ビデオ（S VIDEO IN）

映像：S ビデオ入力端子

音声：音声入力端子（L （MONO） AUDIO/ R）

❺ ビデオ（VIDEO IN）

映像：ビデオ入力端子

音声：音声入力端子（L （MONO） AUDIO/ R）

ご注意

S ビデオとビデオは同じ音声入力を使用します。

出力（11 ページ）

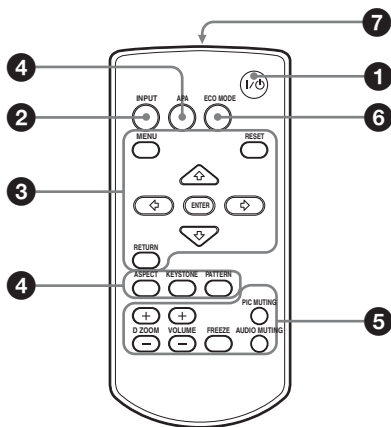
❻ 出力（OUTPUT）

映像：モニター出力端子（MONITOR）

音声：音声出力端子（AUDIO）

ご注意

投写している映像または音声が出力されます。映像については、RGB 入力端子（入力 A、入力 B（入力 B は VPL-SX535 のみ））からコンピューター信号を入力しているとき、または Y PB PR 入力端子（入力 A）からビデオ信号を入力しているときに出力できます。

その他

❼ RS-232C 端子（RS-232C）

RS-232C 準拠の制御用端子です。コンピューターの RS-232C 端子と RS-232C ケーブル（クロス）で接続します。

❽ LAN 端子 （32 ページ）

❾ 電源コンセント（～）

付属の電源コードを接続します。

リモコンと本体ボタン

リモコン

本体ボタン

❶ 電源を入／スタンバイする

I ／ ⏻（オン／スタンバイ）ボタン

❷ 入力を切り換える（12 ページ）

INPUT（入力選択）ボタン

❸ メニュー操作などを行う（18 ページ）

MENU（メニュー）ボタン

RESET（リセット）ボタン

ENTER（決定）／ ↑/↓/←/→（矢印）ボタン

RETURN（戻る）ボタン

❹ 映像を調整する（14 ページ）

ASPECT（アスペクト）ボタン（22 ページ）

KEYSTONE（台形補正）ボタン（16 ページ）

PATTERN（パターン）ボタン（16 ページ）

APA（オートピクセルアライメント）ボタン*（16 ページ）

ご注意

* RGB 入力端子（入力 A、入力 B（入力 B は VPL-SX535 のみ））からコンピューター信号を入力しているときに使用できます。

❺ 投写中の便利な機能を利用する

D ZOOM（デジタルズーム）+/ – ボタン *1

投写中の映像の一部を拡大します。

1 D ZOOM + ボタンを押し、投写画面上にデジタルズームアイコンを表示する。

2 ↑/↓/←/→ ボタンで、拡大したい映像の位置にデジタルズームアイコンを移動させる。

3 D ZOOM + ボタンまたは D ZOOM – ボタンをくり返し押し、拡大率を変える。
拡大率は 1 倍から 4 倍まで変更できます。

RESET ボタンを押すと、元の映像に戻ります。

PIC MUTING（ピクチャーミューティング）ボタン

一時的に投写中の映像を消します。もう一度押すと解除します。

消画中はランプ出力を低下させ、消費電力を抑えることができます。

AUDIO MUTING（オーディオミューティング）ボタン

音声出力時に一時的に音声を消します。もう一度押すと解除します。

VOLUME（音量）+/ – ボタン

音量を調整します。

FREEZE（フリーズ）ボタン *2

一時的に映像を静止します。もう一度押すと解除します。

ご注意

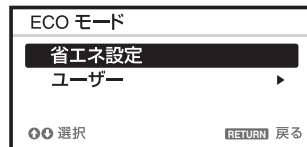
*1 コンピューター信号を入力しているときに使用できます。ただし入力信号の解像度によっては使用できない場合があります。

*2 コンピューター信号を入力しているときに使用できます。

❻ 簡単に省エネ設定をする

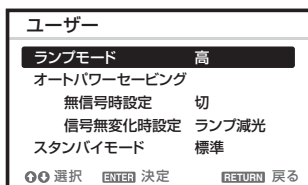
ECO MODE（エコ モード）ボタン

「ランプモード」、「無信号時設定」、「信号無変化時設定」、「スタンバイモード」の省エネ設定ができます。

1 ECO MODE ボタンを押し、ECO モードメニューを表示する。

2 ↑/↓ ボタンまたは ECO MODE ボタンを押し、「省エネ設定」または「ユーザー」モードを選ぶ。

省エネ設定： それぞれの設定を最も省エネになる値（ランプモード：「低」／無信号時設定：「スタンバイ」／信号無変化時設定：「ランプ減光」/ スタンバイモード：「低」）に設定します。

ユーザー： 省エネ設定を手動で行えます。（手順 **3** へ）

3「ユーザー」を選び、➡ボタンを押す。
設定項目が表示されます。

4 ⬆/⬇ボタンで項目を選択し、ENTERボタンを押して設定項目を選ぶ。

5 ⬆/⬇ボタンで設定値を選ぶ。

6 ENTERボタンを押す。
元の画面に戻ります。

各設定項目の内容について詳細は、接続／電源設定メニュー（28ページ）の「ランプモード」、「無信号時設定」、「信号無変化時設定」、「スタンバイモード」をご覧ください。

その他

❼ リモコン発光部

リモコンの操作について

・リモコン受光部に向けて操作してください。
・本体に近いほど、操作可能な角度が広がります。
・リモコンと本体のリモコン受光部の間に障害物があると、操作できないことがあります。

接続のしかた

ご注意

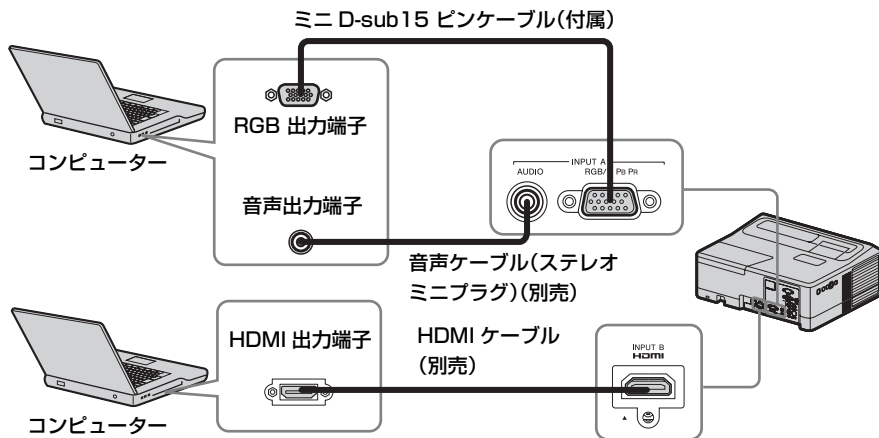
・各機器の電源を切った状態で接続してください。
・接続ケーブルは、各端子の形状に合った正しいものを選んでください。
・プラグはしっかり差し込んでください。不完全な接続は、動作不良や画質不良の原因になります。抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
・接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
・音声ケーブルは、抵抗なしのものをお使いください。

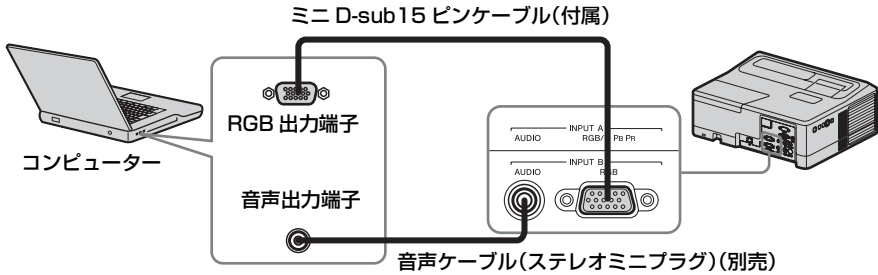
コンピューターとの接続

コンピューターとの接続のしかたを入力別に説明します。

入力A（INPUT A）／入力B（INPUT B）

VPL-SW535

RGB出力端子またはHDMI出力端子付きのコンピュータと接続します。

VPL-SX535

RGB 出力端子付きのコンピューターと接続します。

ご注意

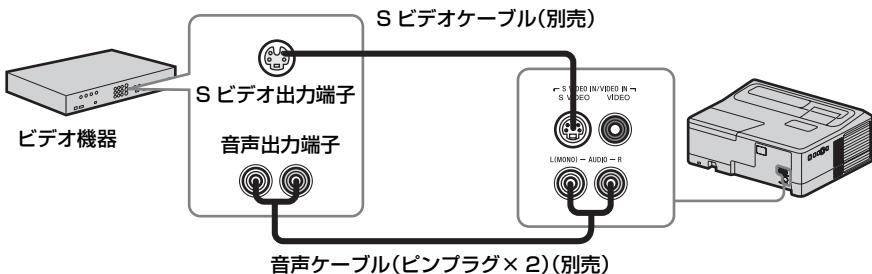
- HDMI で接続する機器、および HDMI ケーブルは、HDMI ロゴを取得したものをご使用ください。
- 本機の HDMI 端子は、DSD（Direct Stream Digital）信号と CEC（Consumer Electronics Control）信号には対応していません。
- コンピューターの画面の設定で、外部モニターの解像度を VPL-SW535 は 1280 × 800 ピクセル、VPL-SX535 は 1024 × 768 ピクセルに設定することをおすすめします。

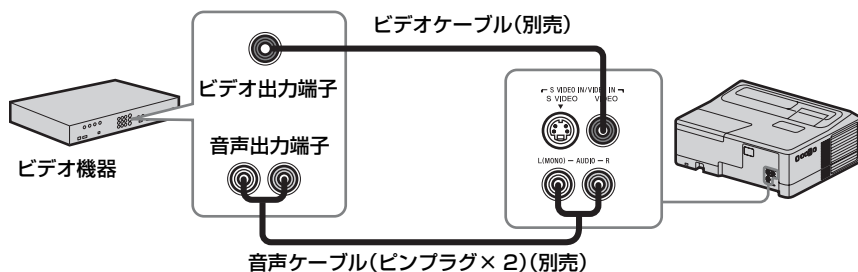
ビデオ機器との接続

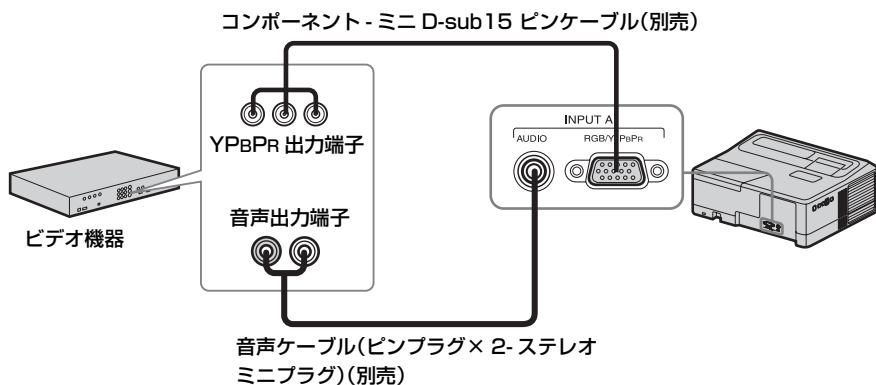
VHS ビデオ、DVD プレーヤー、BD プレーヤーなどのビデオ機器との接続のしかたを入力別に説明します。

S ビデオ（S VIDEO IN）

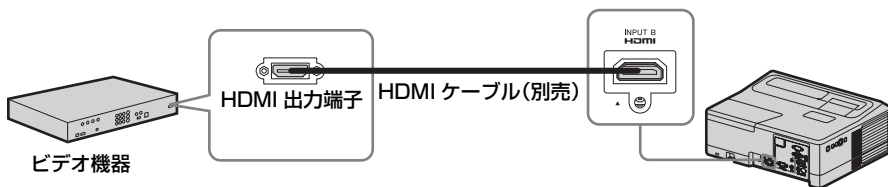
S ビデオ出力端子付きのビデオ機器と接続します。

準備

ビデオ（VIDEO IN）

ビデオ出力端子付きのビデオ機器と接続します。

入力 A（INPUT A）

Y PB PR 出力端子付きのビデオ機器と接続します。

入力 B（INPUT B）

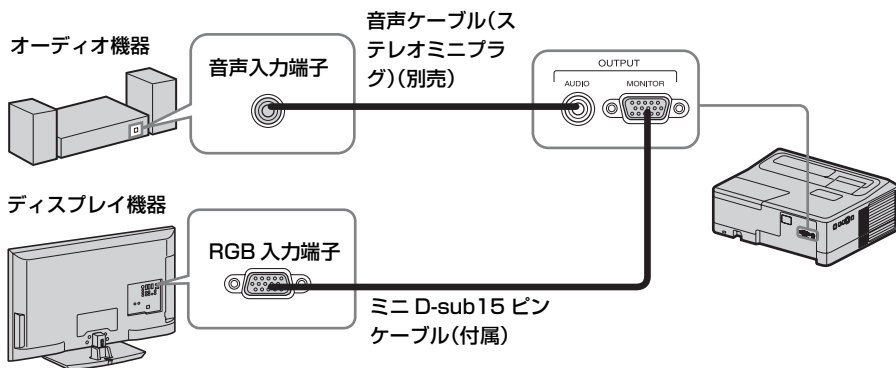
VPL-SW535

HDMI 出力端子付きのビデオ機器と接続します。

ご注意

- HDMI で接続する機器、および HDMI ケーブルは、HDMI ロゴを取得したものをご使用ください。
- 本機の HDMI 端子は、DSD（Direct Stream Digital）信号と CEC（Consumer Electronics Control）信号には対応していません。

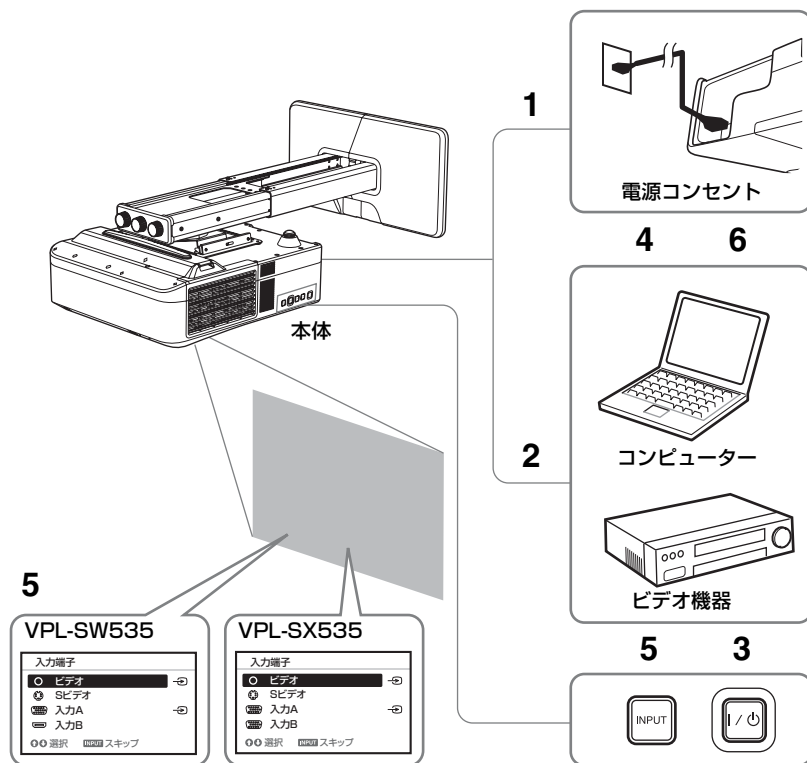
外部モニター、オーディオ機器との接続

出力（OUTPUT）

投写中の映像または本機に入力された音声を、モニターなどのディスプレイ機器、またはアンプ内蔵スピーカーなどのオーディオ機器に出力することができます。

ご注意

投写している映像または音声が出力されます。映像については、RGB 入力端子（入力 A、入力 B（入力 B は VPL-SX535 のみ））からコンピューター信号を入力しているとき、または Y PB PR 入力端子（入力 A）からビデオ信号を入力しているときに出力できます。

映像を投写する

プロジェクター（本機）は、スクリーンまでの距離（投写距離）によって投写される映像の大きさが変わります。スクリーンサイズに合うように本機を設置してください。投写距離と投写される映像の大きさについて詳しくは、「投写距離とレンズシフト量」（51 ページ）をご覧ください。

1 **電源コードをコンセントに差し込む。**

2 **再生する機器と接続する（8 ページ）。**

3 **I/⏻ ボタンを押して、電源を入れる。**

4 **再生する機器の電源を入れる。**

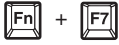
5 **投写する映像を選ぶ。**

本機の INPUT ボタンを押すと、スクリーンに入力切換パレットが表示されます。INPUT ボタンをくり返し押すか、または ⬆/⬇ ボタンを押し、投写する映像を選びます。

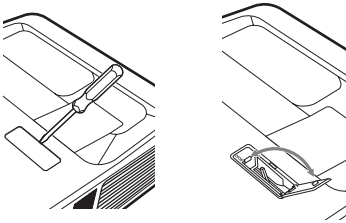
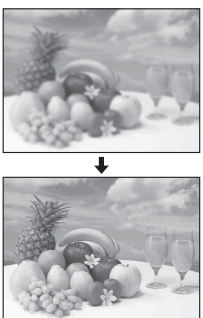
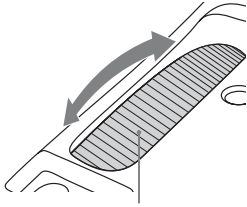
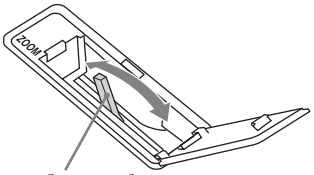
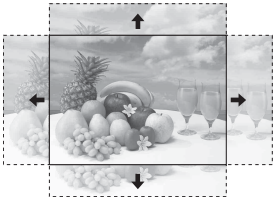
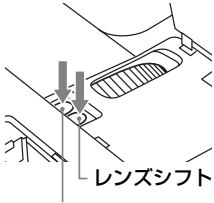
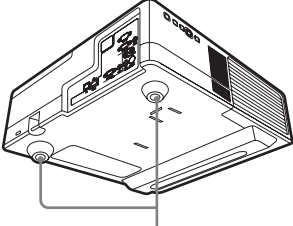
6 コンピューター側で画面の出力先を外部ディスプレイに変更する。

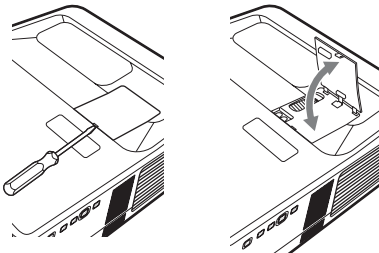
出力先の切り換えは、コンピューターによって異なります。

（例）

Fn + F7

7 画面のフォーカス、サイズ、位置を調整する（14ページ）。

ズームレバーのカバーを開く

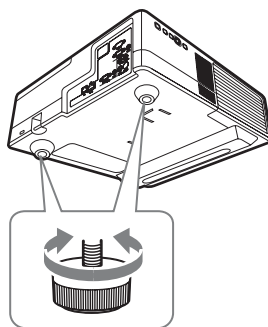
マイナスドライバー等を使用して、カバーを開いてください。

レンズシフトダイヤルのカバーを開く

マイナスドライバー等を使用して、カバーを開いてください。

映像を調整する

画面のフォーカス （フォーカス）	画面のサイズ （ズーム）
フォーカスリング	ズームレバー

* 指定された量以上に、レンズシフトを調整しないでください。故障の原因となります。詳細は、投写距離とレンズシフト量（51 ページ）をご覧ください。

アジャスターによる微調整

脚を回して高さを微調整することができます。
アジャスターを使ってプロジェクターの傾きをかえることにより投写される画面の位置を調整します。

ご注意

・アジャスターを調整するときは、手をはさまないようにしてください。
・アジャスターを出した状態で、本機を上から強く押さえないでください。

投写画面の縦横比を変更する

リモコンの ASPECT ボタンを押すと投写画面の縦横比が切り換わります。メニューの画面モードのアスペクトからも設定できます（22 ページ、24 ページ）。

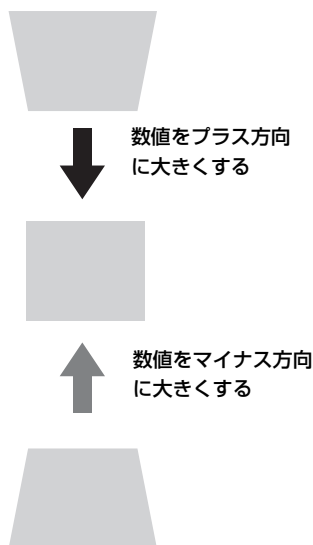
台形になった画面を補正する（キーストーン補正）

画面が台形になった場合は手動でキーストーン補正を行ってください。

1 リモコンの KEYSTONE ボタンもしくは設置設定の V キーストーンを選び、調整メニューを表示する。

2 ↑/↓/←/→ で数値を調整する。数値がプラス方向に大きくなると画面の上側の幅が小さくなり、マイナス方向に大きくなると画面の下側の幅が小さくなります。

ご注意

・キーストーン補正は電子的な補正のため、画像が劣化する場合があります。
・レンズシフト調整の位置によっては、キーストーン補正を行うとオリジナル画像のアスペクト比（縦横比）が維持できない、または画像に歪みが生じる場合があります。

調整用パターンを表示する

リモコンの PATTERN ボタンを押すと、投写画面上に調整用パターンを表示することができます。もう一度 PATTERN ボタンを押すと、元の画面に戻ります。

コンピューター信号入力時に投写画面のフェーズ、ピッチ、シフトを自動調整する（オートピクセルアライメント（APA））

リモコンの APA ボタンを押します。調整中にもう一度押すと、調整が取り消されます。画面モードからも実行できます（22 ページ）。機能設定のスマート APA で「入」を選ぶと、信号が入力されると自動的に APA を実行します（26 ページ）。

スクリーンからはみ出した映像を縮小する

1 設置設定メニューの「スクリーンフィット」の「デジタルシュリンク」を選び、調整メニューを表示する。

2 ↑/↓/←/→ で数値を調整する。数値が大きくなると、画面全体が縮小されます。

ご注意

デジタルシュリンクは電子的な補正のため、画像が劣化する場合があります。

電源を切る

1 本体またはリモコンの I/⏻ ボタンを押す。

シャットダウンが開始され、電源がオフされます。10 秒以内に I/⏻ ボタンをもう一度押すとすぐに電源がオンの状態に復帰します。

2 電源コードを抜く。

確認メッセージを出さずに電源を切るには

本体の I/⏻ ボタンを数秒間押し続けてください。（37 ページ）

メニューの操作のしかた

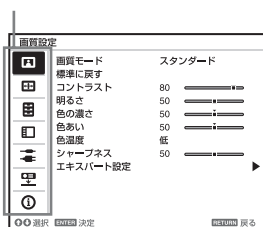
ご注意

説明で使用している画面はイメージです。ご使用になっている機種によって異なることがあります。あらかじめご了承ください。

1 **MENU ボタンを押して、メニュー画面を表示させる。**

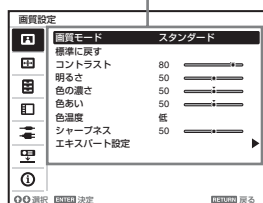
2 **設定したい設定メニューを選ぶ。**

↑/↓ ボタンを押して設定メニューを選び、→ ボタンまたは ENTER ボタンを押す。

設定メニュー

3 **設定したい項目を選ぶ。**

↑/↓ ボタンを押して項目を選び、→ ボタンまたは ENTER ボタンを押す。

← ボタンまたは RETURN ボタンを押すと、設定メニューの選択に戻ります。

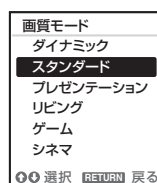
設定項目

4 **設定項目の設定や調整をする。**

設定項目によって、設定のしかたが異なります。次の階層が表示された場合は、**3** の操作方法に従って設定したい項目を選び、ENTER ボタンを押して設定を確認してください。

← ボタンまたは RETURN ボタンを押すと、設定項目の選択に戻ります。また、設定項目を設定、または調整中に RESET ボタンを押すと、お買い上げ時の値に戻ります。

ポップアップメニューの操作：

↑/↓/←/→ ボタンで項目を選びます。項目を選ぶとすぐに設定が反映されます。

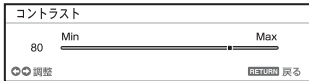
ただし、「表示言語」に限り、ENTER ボタンを押すまで設定は反映されません。

設定メニューの操作：

↑/↓ ボタンで項目を選びます。

ENTER ボタンを押すと設定が確定し、元の画面に戻ります。

調整メニューの操作：

数値を大きくするときは ⬆/➡ ボタンを押し、数値を小さくするときは ⬇ または ⬅ ボタンを押します。

ENTER ボタンを押すと設定が確定し、元の画面に戻ります。

5 MENU ボタンを押して、メニュー画面を消す。

しばらくの間操作をしないと、メニュー画面は自動的に消えます。

画質設定

入力信号ごとに画質を調整します。

項目	項目説明
画質モード	**ダイナミック：**明暗のはっきりしたメリハリのある鮮やかな画質になります。 **スタンダード：**なめらかな階調の自然な画質になります。 **プレゼンテーション** *1**：**プレゼンテーションに適した明るい画質になります。 **リビング：**スポーツ、ミュージック、デジタルビデオカメラなどの素材に適した画質になります。 **ゲーム：**ゲームに適した画質になります。 **シネマ：**映画鑑賞に適した画質になります。
標準に戻す *7	画質設定をお買い上げ時の値に戻します。
コントラスト	数値が大きくなると映像のメリハリが強くなり、小さくなると弱くなります。
明るさ	数値が大きくなると映像が明るくなり、小さくなると暗くなります。
色の濃さ *2、*4	数値が大きくなると映像の色が濃くなり、小さくなると薄くなります。
色あい *2、*4、*5	数値が大きくなると映像の色あいが緑がかり、小さくなると赤みがかかります。
色温度 *3	**高／中／低：**高い温度ほど映像が青みがかった色調になり、低い温度ほど赤みがかった色調になります。
シャープネス *2	数値が大きくなると映像の輪郭がはっきりし、小さくなると柔らかくなります。
エキスパート設定	
フィルムモード *2*6	**オート：**映画フィルム映像を原画に忠実な映像に再現します。通常は「オート」のままお使いください。 **切：**「オート」に設定していて映像の輪郭がギザギザ見えるときに選んでください。

項目	項目説明
ガンマモード[*1]	**グラフィックス 1：**中間調が明るめに補正されるガンマ補正曲線を選びます。写真等の多彩な映像を明るい場所で投写する場合に適しています。 **グラフィックス 2：**中間調の再現性が高くなるガンマ補正曲線を選びます。写真等の多彩な映像を自然な諧調で再現します。 **テキスト：**白と黒の対比をはっきりさせるガンマ補正曲線を選びます。文字の多い映像に適しています。

ご注意

*1：コンピューター信号入力時に選択できます。

*2：ビデオ信号入力時に選択できます。

*3：画質モードを「プレゼンテーション」以外に設定している場合に選択できます。

*4：カラーバースト信号を含まない信号が入力された場合には、選択できません。

*5：アナログ TV 信号の場合は、カラー方式によっては選択できない場合があります。

*6：プログレッシブ信号入力時には選択できません。

*7：画質モードの値はお買い上げ時の設定に戻りません。

画面モード

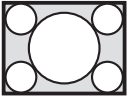
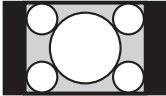
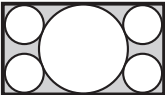
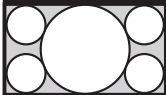
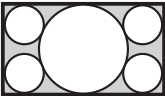
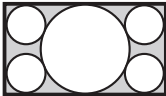
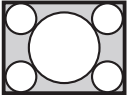
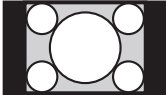
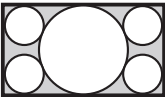
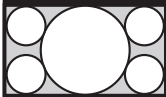
入力信号ごとに、投写画面のサイズ、位置、アスペクトなどを調整します。

項目		項目説明
アスペクト[*3]		投写している画面の縦横比が切り換わります。(24 ページ)
	コンピューター信号入力時	**フル 1：**入力信号の縦横比を維持して画面いっぱいに投写します。
		フル 2：画面いっぱいに投写します。
		ノーマル：拡大処理をせずに入力信号の解像度のまま、画面の中心位置に投写します。
	ビデオ信号入力時	**4：3：**縦横比を 4：3 に固定し、画面いっぱいに投写します。 **16：9：**縦横比を 16：9 に固定し、画面いっぱいに投写します。 **フル[*5]：**画面いっぱいに投写します。 **ズーム：**画像の中心部分を拡大して投写します。
入力信号調整		コンピューター信号入力時の投写画面を調整します。画面の端が切れていたり、映りが悪い場合に調整します。
	APA[*1*4]	ENTER ボタンを押すと画面が最適になるように自動で調整します(5 ページ)。
	フェーズ[*1]	入力信号と表示画素の位相（フェーズ）を調整します。一番くっきり見える数値に設定してください。
	ピッチ[*1]	数値が大きくなると水平方向の表示画素の幅（ピッチ）が大きくなり、小さくなると幅が小さくなります。
	シフト[*2]	**H（水平）：**数値が大きくなると画面が右に、小さくなると左に移動します。 **V（垂直）：**数値が大きくなると画面が上に、小さくなると下に移動します。

ご注意

*1：RGB 入力端子（入力 A、入力 B（入力 B は VPL-SX535 のみ））から入力されるコンピューター信号入力時に選択できます。

*2：RGB 入力端子（入力 A、入力 B（入力 B は VPL-SX535 のみ））から入力されるコンピューター信号入力時、または Y PB PR 入力端子（入力 A）から入力されるビデオ信号入力時に選択できます。

*3：・営利目的、また公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテルなどにおいて、アスペクト機能などを利用して、面積の分割表示や圧縮、引き伸ばしなどを行いますと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがありますのでご注意ください。

・入力信号によって、「アスペクト」の項目または一部の設定項目を設定できない場合があります。また、異なるアスペクトを設定しても同じ映像になる場合があります。

・選択した項目によって画面の一部が黒で表示される場合があります。

*4：投写している画像の周辺領域に黒の部分が多く含まれていると正しく働かず、画像の一部が表示されないことがあります。また、入力信号によっては、最適にならない場合があります。その場合は手動で「フェーズ」、「ピッチ」、「シフト」を調整してください。

*5：VPL-SW535のみ。

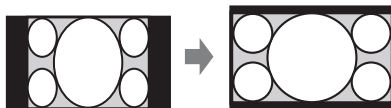
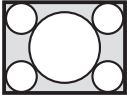
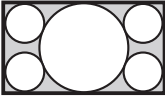
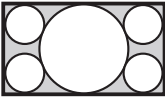
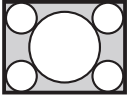
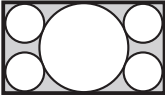
アスペクトについて

VPL-SW535

	入力信号	おすすめの設定値とそのときに投写される映像
コンピューター信号	「4：3」	「フル 1」*1 *2
	「16：9」	「フル 1」*1 *2
	「16：10」	「フル 1」*1
ビデオ信号	「4：3」	「4：3」*3 *5
	「16：9」	「16：9」*4 *5

*1 :「ノーマル」を選ぶと、拡大処理をせずに映像信号の解像度のままで表示します。

*2 :「フル２」を選ぶと、縦横比を無視して画面いっぱいに投射します。

*3 :入力信号によっては、下のように表示される場合があります。この場合は「16：9」を選んでください。

*4 :入力信号によっては、下のように表示される場合があります。この場合は「ズーム」を選んでください。

*5 :「フル」を選ぶと、縦横比を無視して画面いっぱいに投射します。

VPL-SX535

	入力信号	おすすめの設定値とそのときに投写される映像
コンピューター信号	「4：3」	「フル 1」*1
	「16：9」	「フル 1」*1 *2
	「16：10」	「フル 1」*1 *2
ビデオ信号	「4：3」	「4：3」*3
	「16：9」	「16：9」*4

*1 :「ノーマル」を選ぶと、拡大処理をせずに映像信号の解像度のままで表示します。

*2 :「フル 2」を選ぶと、縦横比を無視して画面いっぱいに投写します。

*3 :入力信号によっては、下のように表示される場合があります。この場合は「16：9」を選んでください。

*4 :入力信号によっては、下のように表示される場合があります。この場合は「ズーム」を選んでください。

機能設定

本機が対応しているさまざまな機能を設定します。

項目	項目説明
音量	数値が大きくなると音量が大きくなり、小さくなると音量が小さくなります。外部音声出力の音量レベルも連動します。
スピーカー	**入／切：**「入」を選ぶと、本機のスピーカーから音がでます。スピーカーから音を出したくない場合は、「切」を選んでください。
スマート APA	**入／切：**「入」を選ぶと、信号が入力されると自動的に APA を実行します。*1
CC ディスプレイ	**CC1 ／ CC2 ／ CC3 ／ CC4 ／ Text1 ／ Text2 ／ Text3 ／ Text4：**表示する CC（クローズドキャプション）のサービス（字幕または文字情報）を選択します。 **切：**CC を表示しません。
ランプタイマー初期化	ランプを交換したときにランプタイマーを初期化します。（41 ページ）
無信号入力時背景	**ブラック／ブルー：**信号が入力されていないときの背景の色を設定できます。
スタートアップイメージ	**入／切：**「入」を選ぶと起動時にスタートアップイメージが表示されます。

ご注意

*1：RGB 入力端子（入力 A、入力 B（入力 B は VPL-SX535 のみ））からコンピューター信号が入力された時に APA が実行されます。

操作設定

メニューやリモコンによる操作のための機能を設定します。

項目	項目説明
表示言語	メニューやメッセージなどに使用する言語を設定します。
画面表示	**入：**すべての画面表示が有効になります。 **切：**メニューの表示、警告メッセージ、お知らせなど以外の画面表示が出なくなります。
セキュリティロック[*1]	**入／切：**パスワードを設定し、利用者を制限することができます。セキュリティロックの設定手順は以下のとおりです。 **1**「入」を選び、ENTER ボタンを押して設定画面を表示する。 **2** MENU、↑/↓/←/→、ENTER の 6 つのボタンを使用してパスワードを入力する。（出荷時は"ENTER, ENTER, ENTER, ENTER"が設定されています。） **3** MENU、↑/↓/←/→、ENTER の 6 つのボタンを使用して新しいパスワードを入力する。 **4** 確認のため、もう一度新しく設定したパスワードを入力する。 パスワードは電源コードの抜き差しをしたあと、電源を入れたときに入力します。 「切」を選ぶとセキュリティロックを解除できます。このときも、パスワードの入力が必要です。 パスワードの入力に 3 回続けて失敗すると、これ以降の操作ができません。その場合は、I/⏻ ボタンを押して一度スタンバイにし、もう一度電源を入れ直してください。
パネルキーロック	**入／切：**「入」を選ぶと、本体ボタンでの操作ができなくなります。ただし、「入」の場合でも以下の操作はできます。 ・スタンバイ状態で、I/⏻ ボタンを約 10 秒押す。 →電源が入ります。 ・電源が入った状態で、MENU ボタンを約 10 秒押す。 →パネルキーロックが「切」になり、本体ボタンの操作が可能になります。

*1：パスワードが分からなくなった場合、本機を使用することができなくなりますので充分にご注意ください。ソニーの相談窓口にお問い合わせいただくと、パスワードをご案内いたします。その際は、本機のシリアル番号とお客様の確認が必要になります。（確認方法は、販売国／地域によって異なります。）

接続／電源設定

接続、電源に関わる機能を設定します。

項目		項目説明
ネットワーク設定		
	IP アドレス設定	**自動 (DHCP)：**ルーターなどの DHCP サーバー機能により、自動でネットワークの設定を割り当てます。 **手動：**手動でネットワークを設定します。
入力 A 信号種別		**オート／コンピューター／ビデオ GBR ／コンポーネント：**「オート」を選ぶと、入力 A を選んでいるときの映像信号の種別を自動的に選びます。[*1]
カラー方式		**オート／ NTSC3.58 ／ PAL ／ SECAM ／ NTSC4.43 ／ PAL-M ／ PAL-N：**「オート」を選ぶと、S ビデオ、ビデオを選んでいるときの映像信号のカラー方式を自動的に選びます。[*1]
省エネ設定		
	ランプモード	**高／標準／低：**「高」を選ぶと、映像は明るくなり、消費電力が高くなります。
	オートパワーセービング	
	無信号時設定	**ランプオフ：**本体に信号が入力されない状態が 10 分以上続いた場合に、自動的にランプが切れて消費電力を少なくすることができます。信号が入力されるか、ボタンを操作すると再びランプが点灯します。ランプオフ状態では、ON/STANDBY インジケーターはオレンジ色に点灯します（36 ページ）。 **スタンバイ [*6]：**本体に信号が入力されない状態が 10 分以上続くと自動的に電源が切れ、スタンバイ状態になります。 **切：**無信号時設定機能を無効にします。
	信号無変化時設定	**ランプ減光：**本体に入力されている映像に変化が無い状態が続いた場合（約 10 秒）に、ランプモードの設定から約 10%～ 15%[*3]（のランプ出力の低減を徐々に行います。[*4] また、任意の設定時間（5 分 /10 分 /15 分 /20 分 / デモ）の入力信号無変化検出により、自動的に約 30%のランプ出力へ徐々に減光します。また、減光中は「ランプ減光」のお知らせが表示されます。「デモ」を選択した場合、約 35 秒程度で減光を開始します。信号変化または、操作（リモコン / 本体ボタン）を検出すると、元の明るさに戻ります。[*5] **切：**信号無変化時設定機能を無効にします。
	スタンバイモード [*2]	**標準／低：**「低」を選ぶと、スタンバイ時の消費電力が少なくなります

項目	項目説明
ダイレクトパワーオン	**入／切：**「入」を選ぶと、電源コードをコンセントに接続したときに、スタンバイ状態を経ずに電源が「入」になるようになります。電源を切るときは、ダイレクトパワーオンの設定に関わらず、スタンバイを経ずに電源コードを抜くことができます。

ご注意

*1：入力される映像信号によっては、最適にならない場合があります。その場合は、接続している機器に応じて手動で設定してください。

*2：スタンバイモードが「低」の場合、スタンバイ時にネットワークおよびネットワークコントロール機能は使用できなくなります。

*3：ランプモードの設定により異なります。

*4：ランプ減光は、時間をかけて徐々に行われるので、減光されていることに気づかない場合があります。そのため、入力信号が変化して元の明るさに戻ったときに、減光されていたことに気づく場合があります。

*5：ランプ点灯後、約3分間はこのモードは機能しません。また、入力されている映像により信号変化/無変化を検出できない場合があります。減光した状態で使用を続けた場合、一定時間毎に明るくなる場合がありますが故障ではありません。無信号時設定が有効の場合は、その動作が優先されます。

*6：無入力信号時に自動的にスタンバイ状態にさせたくない場合には、設定を「切」にしてください。

設置設定

本機を設置するときに使われる機能を設定します。

項目	項目説明
画像反転	**上下左右／左右／上下／切：**設置方法に応じて映像を水平または垂直方向に反転します。
設置角度	**床置き／天井つり：**設置角度に応じて冷却設定を変更します。誤った設定のままで使用すると部品の信頼性などに影響を与えるおそれがあります。
高地モード*1	**入／切：**高地（海抜 1500 m 以上）で使用する場合に「入」に設定してください。誤った設定のままで使用すると、部品の信頼性などに影響を与えるおそれがあります。
スクリーンフィット	**V キーストーン*2*3：**数値がプラス方向に大きくなると画面の上側の幅が小さくなり、マイナス方向に大きくなると画面の下側の幅が小さくなります。 **デジタルシュリンク*4：**画面全体を縮小します。値を「0」にすると、縮小していない状態になりま す。 投写画像が、スクリーンからはみ出しているなどの場合にご使用ください。

ご注意

*1：高地モードを「入」にした場合、ファンの回転数が上がり、音が少し大きくなります。

*2：キーストーン補正は電子的な補正のため、画像が劣化する場合があります。

*3：レンズシフト調整の位置によっては、キーストーン補正を行うとオリジナル画像のアスペクト比（縦横比）が維持できない、または画像に歪みが生じる場合があります。

*4：デジタルシュリンクは電子的な補正のため、画像が劣化する場合があります。

ⓘ 情報

ランプの使用時間など、本機の情報を確認できます。

項目	項目説明
モデル名	本機のモデル名を表示します。
シリアル No.	本機のシリアル番号を表示します。
fH（水平周波数）／fV（垂直周波数）*1	現在入力されている信号の水平周波数／垂直周波数を表示します。
信号の種類	現在入力されている信号の種類を表示します。
ランプ使用時間	これまでのランプの使用時間を表示します。

ご注意

*1：入力信号によって表示されない場合があります。

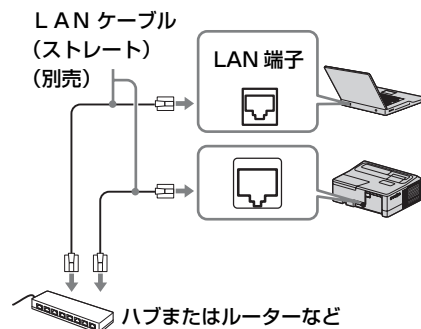
ネットワーク機能を利用する

プロジェクターをネットワークに接続することで、以下のことができます。
・ウェブブラウザを利用してプロジェクターの現在の状況を確認する。
・ウェブブラウザを利用してプロジェクターを遠隔操作する。
・プロジェクターからメールレポートを受け取る。
・プロジェクターのネットワーク設定を行う。
・各種ネットワーク監視、制御プロトコル（Advertisement 、PJ Talk、PJ Link、AMX DDDP （Dynamic Device Discovery Protocol)、SNMP）に対応。

ご注意

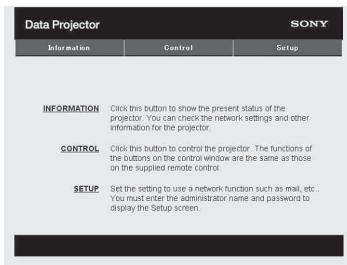
・説明で使用している画面はイメージです。ご使用になっている機種によっては異なる場合があります。あらかじめご了承ください。
・使用できるウェブブラウザは、Internet Explorer 6/7/8 です。
・表示可能言語は英語のみです。
・コンピューターからプロジェクターにアクセスする際、ブラウザの設定が「プロキシサーバーを使用する」になっている場合は、チェックマークをクリックし、プロキシサーバーを使用しない設定にしてください。

ウェブブラウザでプロジェクターのコントロール画面を開く

1 LAN ケーブルをつなぐ。

2 プロジェクターのネットワーク設定を行う。

「接続／電源設定」の「ネットワーク設定」でプロジェクターのネットワーク設定を行ってください（28 ページ）。

3 ウェブブラウザを起動し、アドレス欄に以下を入力し <ENTER> キーを押す。

http://xxx.xxx.xxx.xxx
（xxx.xxx.xxx.xxx：プロジェクターの IP アドレス）
プロジェクターの IP アドレスは、「接続／電源設定」の「ネットワーク設定」で確認できます（28 ページ）。
ブラウザに以下のようなコントロール画面が表示されます。

一度ネットワーク設定を行えば、次回からは手順 **3** の操作だけでコントロール画面を表示できます。

コントロール画面の操作方法

ページを切り換える

ページ切換えボタンをクリックして、設定したいページを表示してください。

ページ切換えボタン

アクセス制限を設定する

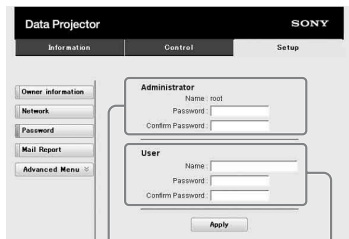
各ページの利用者を次のように制限できます。

管理者：すべてのページにアクセス可能。

ユーザー：Setup ページ以外にアクセス可能。

Setup ページ内の Password ページから設定します。

初めて Setup ページにアクセスするときは、ユーザー名「root」、パスワード「なし」でアクセスしてください。

なお、管理者の名前は「root」に固定されています。

「管理者」権限の入力エリア

「ユーザー」権限の入力エリア

パスワードを変更する場合は、設定されているパスワード（*****）を削除してから、新しいパスワードを入力してください。

ご注意

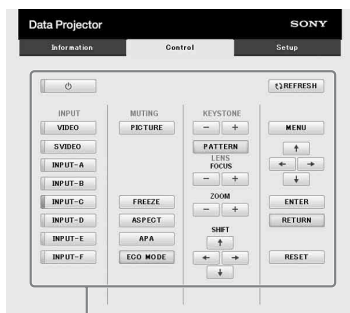
パスワードを忘れた時は、ソニーの相談窓口へお問い合わせください。

プロジェクターの状態を確認する

Information ページを開くと、プロジェクターの現在の状態を確認できます。

情報エリア

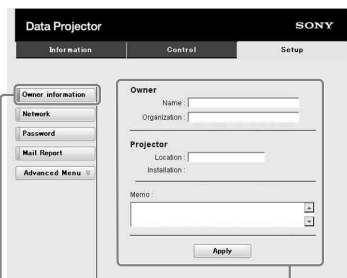
プロジェクターを操作する

Control ページからプロジェクターを操作します。

各ボタンの働きは、リモコンのボタンと同じになります。

メールレポート機能を利用する

Setup ページからメールレポート機能を設定します。
Setup ページで入力した値は、Apply ボタンを押すまで適用されません。

1 **メールレポートに記載される所有者情報を入力する。**

Owner information ボタンを押し、メールレポートに記載される所有者情報を入力します。

2 **メールレポートのタイミングを設定する。**

Mail Report ボタンを押し、Mail Report ページを開く。

Lamp Reminder（Lamp1）：ランプ交換のためのレポートタイミングを設定します。本体側でランプタイマー初期化を実行するとリセットされます。（26 ページ）

Maintenance Reminder：任意のメンテナンスのレポートタイミングを設定します。RESET チェックボックスをチェックし、Apply ボタンを押すとリセットされます。

Mail Report ボタン

3 送信先メールアドレスを入力する。

Email Address に送信先のメールアドレスを入力し、発行するメールレポートの Report Timing チェックボックスにチェックをします。

4 メールレポートを送信するためのメールアカウントを設定する。

Mail Address：メールアドレスを入力します。

Outgoing Mail Server (SMTP)：送信メールサーバー（SMTP）のアドレスを入力します。

Required Authentication：メール送信に認証が必要な場合にチェックします。

Requires the use of POP Authentication before send e-mail（POP before SMTP）：メール送信時に POP 認証を行う場合にチェックします。

Incoming Mail Server (POP3)：POP3 認証で使用される受信メールサーバー（POP3）のアドレスを入力します。

Account Name：アカウント名を入力します。

Password：パスワードを入力します。

SMTP Authentication：メール送信時に SMTP 認証を行う場合にチェックします。

Account Name：アカウント名を入力します。

Password：パスワードを入力します。

5 メールレポートの内容を確認する。

View ボタンを押すと、送信されるメールレポートの内容が表示されます。

6 テストメールを送信する。

チェックボックスにチェックを入れて Apply ボタンを押すと、設定した送信先アドレスにテストメールが送信されます。

ご注意

・Outbound Port25 Blocking を行っているネットワークでは SMTP サーバーには接続できないためメールレポート機能を使用することはできません。
・文字列が入力できるボックスに「'」「"」「¥」「&」「<」「>」の 6 文字は使用できません。

インジケーターの見かた

インジケーターの点灯により、本機の状態や異常の発生を確認することができます。異常が発生している場合は、表に従い対処してください。

ON ／ STANDBY インジケーター

状況	意味／対処のしかた
赤色に点灯	スタンバイ状態です。
緑色に点滅	本体に電源が入り、操作可能になるまでの間、または電源を切ったあと、冷却している状態です。
緑色に点灯	電源が入っている状態です。
オレンジ色に点灯	無信号時設定（ランプオフ）状態です（28 ページ）。
赤色に点滅	異常な状態です。点滅回数により症状が異なります。以下の内容に従って対処してください。また、以下の対処を行っても症状が再発する場合は、ソニーの相談窓口にご相談ください。
2 回点滅	内部温度が高温になっています。以下を確認してください。 ・排気口、吸気口が壁や物などでふさがれていないか（3 ページ、3 ページ）。 ・エアーフィルターがつまっていないか（43 ページ）。 ・設置設定メニューの設置角度が正しく設定されているか。（30 ページ）
6 回点滅	電源コードを抜き、ON ／ STANDBY インジケーターが消えるのを確認してから、もう一度電源コードをコンセントに差し込み、電源を入れてください。
その他の点滅回数	ソニーの相談窓口にご相談ください。

LAMP/COVER インジケーター

状況	意味／対処のしかた
赤色に点滅	点滅回数により症状が異なります。以下の内容に従って対処してください。
2 回点滅	ランプカバー、またはエアーフィルターカバーが確実に取り付けられていません（41 ページ、43 ページ）。
3 回点滅	ランプが高温になっています。電源を切り、ランプが冷えてからもう一度電源を入れてください。 症状が再発する場合は、ランプの消耗が考えられます。新しいランプに交換してください（41 ページ）。

メッセージ一覧

画面に次のようなメッセージが表示されたら、表に従い対処してください。

メッセージ	意味／対処のしかた	ページ
セット内部温度が高いです。1分後にランプオフします。	以下を確認してください。 ・排気口、吸気口がふさがれていないか。 ・エアーフィルターがつまっていないか。 ・設置設定の設置角度が正しく設定されているか。	3、3、30、43
入力信号の周波数が対応範囲をこえています！	接続先の機器の外部出力設定を本機が対応している信号に変更してください。	49
入力A信号種別の設定を確認してください。	「入力A信号種別」をオートまたは入力されている信号に合わせて設定してください。	28
ランプを交換し、フィルターを掃除してください。	ランプを交換し、エアーフィルターを掃除してください。 メッセージは、ランプを交換してランプタイマーを初期化するまで、起動時に毎回表示されます。	41、43
本機内部の温度が高くなっていますので、高地モードを入に切り替えます。高地でご使用の際は、高地モードを入でお使いください。	高地（海抜1500m以上）で使用していない場合は、以下を確認してください。 ・排気口、吸気口がふさがれていないか。 ・エアーフィルターがつまっていないか。 ・設置設定メニューの設置角度が正しく設定されているか。	3、3、30、43
無効キーが押されました。	無効なボタンが押されました。	–
パネルキーロック中です！	パネルキーロックが設定されています。	27
まもなく電源オフします I/⏻ キーで復帰できます	電源オフボタンが押され、まもなくシャットダウンされます。 I/⏻ ボタンを押すと、シャットダウンが取り消され、電源オン状態に戻ります。 すぐに電源オフにしたい場合は、I/⏻ ボタンを数秒間長押ししてください。	17
ランプ減光中	信号無変化時設定により、ランプ出力を低減させている時に表示されます。信号変化や操作（リモコンまたは本体ボタン）を検出すると復帰します。	28

その他

故障かな？と思ったら

修理に出す前に、もう一度次の点検をしてください。以下の対処を行っても直らない場合は、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にお問い合わせください。

症状	対処のしかた	ページ
電源が入らない	電源コードがしっかりと差し込まれていることを確認してください。	－
	「パネルキーロック」が「入」になっていると、本体の I/⏻ ボタンで電源を入れることができません。	27
	ランプまたはランプカバーが確実に取り付けられていないと電源が入りません。	41
	エアーフィルターまたはエアーフィルターカバーが確実に取り付けられていないと電源が入りません。	43
映像が映らない	再生する機器との間の接続ケーブルがしっかりと差し込まれていることを確認してください。	8
	コンピューターの出力設定が外部モニター出力になっていることを確認してください。 ノート型のコンピューターなどで、出力信号をコンピューターの液晶ディスプレイと外部モニターの両方に出力するように設定すると、外部モニターに正しく映像が出ない場合があります。この場合は、外部モニターにのみ信号が出力されるように、コンピューターを設定してください。	13
	入力が正しく選ばれていることを確認してください。	12
	消画（ミューティング）されていないことを確認してください。	6
画面表示が出ない	「画面表示」が「切」になっていると表示されません。	27
アスペクト（画面の縦横比）がおかしい／画面が小さく表示される／映像の一部が表示されない	入力信号を正しく判定できないことにより、正しく表示されない場合があります。その場合は「アスペクト」の設定を手動で設定してください。	5、22、24
画面が台形になっている	投写する面に対して斜めに投写していると、画面が台形になります。この場合、キーストーン補正機能を利用して補正することができます。	5、16、30

症状	対処のしかた	ページ
画面が暗い／明るすぎる	「明るさ」、「コントラスト」、「ランプモード」の設定により、画面の明るさが変わります。適切な値になっているか確認してください。	20、28
	ランプが消耗していると画面が暗くなります。「ランプ使用時間」を確認し、ランプを交換してください。	31、41
	「信号無変化時設定」が設定されている。	28
	消画中は、消費電力削減の為、ランプ輝度を低減させています。	28
	映像信号が入力されていない場合は、消費電力削減の為、ランプ輝度を低減させています。	−
画面が明るくなったり暗くなったりする	ランプ輝度を低減させている時間が長く続くと、一時的にランプ出力が上昇することがありますが故障ではありません。	−
画面がぼやける	フォーカスがあっていることを確認してください。	14
	レンズが結露していると画面がぼやけます。結露してしまった場合は、電源を入れたまま約2時間そのままにしておいてください。	−
画面にノイズが出る	再生する機器との間の接続ケーブルがしっかりと差し込まれていることを確認してください。	8
音声が出ない	再生する機器、または外部オーディオ機器との間の接続ケーブルがしっかりと差し込まれていることを確認してください。	8
	外部オーディオ機器が正しく設定されていることを確認してください。	−
	「スピーカー」が「切」に設定されていると音声が出ません。	26
	消音（ミューティング）されていると音声が出ません。	6
	音量が最小になっていないことを確認してください。	6、26
リモコンが機能しない	電池が正しく挿入されていることを確認してください。	−
	電池が消耗していないことを確認してください。	−

症状	対処のしかた	ページ
ファンの音が気になる	以下のような場合は、ランプなどをより冷却する必要があるため、ファンの音が大きくなります。 ・ランプモードを「高」で使用している ・高地で使用している（高地モード：「入」） ・本機の周りの温度が高い場所で使用している	28、30
	吸気口、排気口がふさがれていると内部温度が上昇し、ファンの音が大きくなります。	3、3

ランプを交換する

投写画面にメッセージが表示された場合、またはインジケーターにランプ交換のお知らせが表示された場合は、新しいランプに交換してください。（36、37 ページ）
交換ランプは、プロジェクターランプ LMP-E212（別売）をお使いください。

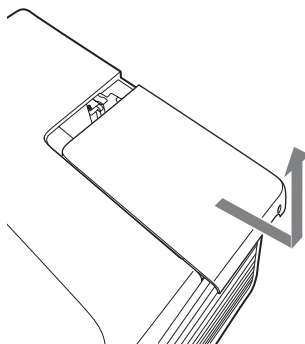
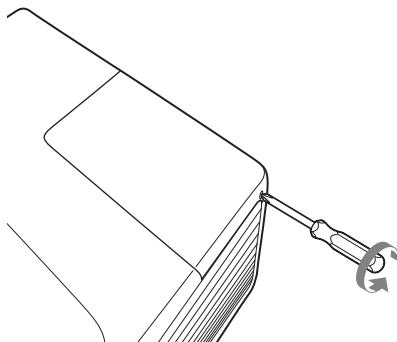
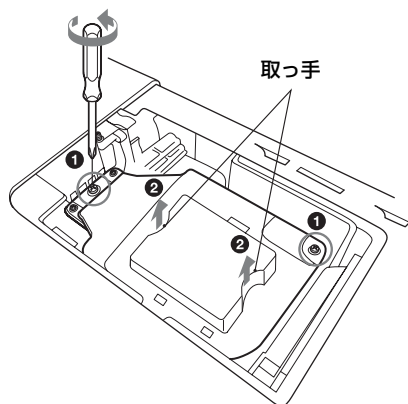
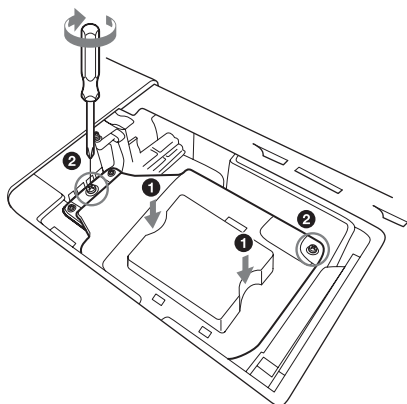
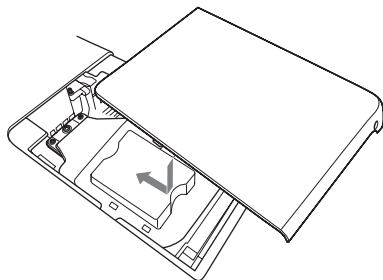
⚠警告

・電源を切った直後はランプが高温になっているため、**触れるとやけどの原因**となります。ランプを充分に冷やすため、**本機の電源を切ったあと 1 時間以上たってからランプを交換**してください。
・ランプをはずしたあとのランプ収納部に、金属類や燃えやすい物などの異物を入れないでください。火災や感電の原因となります。また、やけどの危険がありますので手を入れないでください。

⚠注意

・ランプが破損している場合は、ご自分でランプ交換を行わず、ソニーの相談窓口にご相談ください。
・ランプを取り出すときは、必ず指定された場所を持ち、ランプを傾けずに水平にしたまま取り出してください。指定された場所以外の部分に触れるとけがややけどの原因となることがあります。また、ランプを傾けると、万一ランプが破損している場合に破片が飛び出し、けがの原因となることがあります。

1　電源を切り、電源コードを抜く。

2　ランプが十分冷えてから、ランプカバーのネジ（1 本）をゆるめ、ランプカバーを開く。

3 ランプのネジ（2 本）をゆるめ、取っ手を持ってランプを取り出す。

4 新しいランプを確実に奥まで押し込み、ネジ（2 本）を締める。

5 ランプカバーを閉じ、ネジ（1 本）を締める。

ご注意

ランプが確実に装着されていないと、電源が入りません。

6 電源コードを電源コンセントに差し込み、電源を入れる。

7 ランプタイマーの初期化を行う。

次回の交換時期をお知らせするために、ランプタイマーを初期化します。機能設定メニューから「ランプタイマー初期化」を選び、ENTER ボタンを押すとメッセージが表示されます。「はい」を選ぶとランプタイマーを初期化します。(26 ページ)

エアーフィルターを掃除する

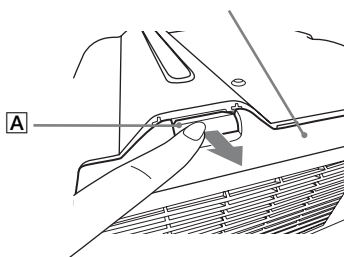
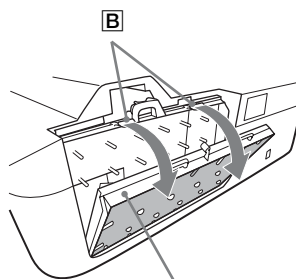
投写画面に表示されるメッセージにエアーフィルター掃除のお知らせが表示された場合は、エアーフィルターを掃除してください（36 ページ、37 ページ）
エアーフィルターを掃除しても汚れが落ちないときは、新しいエアーフィルターに交換してください。新しいエアーフィルターについては、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご依頼ください。

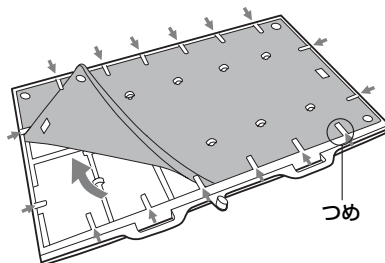
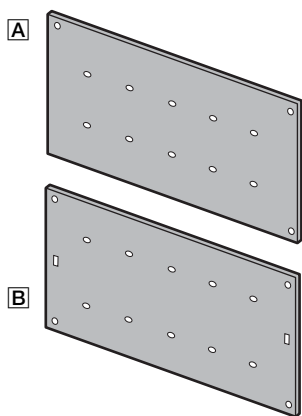
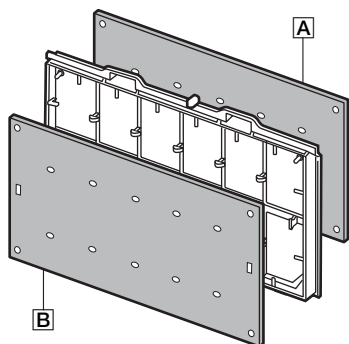
⚠注意

エアーフィルターの掃除を怠ると、ゴミがたまり、内部に熱がこもって、故障・火災の原因となることがあります。

1 電源を切り、電源コードをコンセントから抜く。

2 エアーフィルターカバーを開けてエアーフィルターホルダーを取り出す。

図のように A の部分を押してエアーフィルターカバーを矢印の方向に開けてください。その後、中にあるエアーフィルターホルダーを取り外してください。

エアーフィルターホルダーは、B の部分を押して矢印の方向に取り外してください。

3 掃除機でエアーフィルターを掃除する。

図のようにエアーフィルターを取りはずし、エアーフィルターを掃除機で掃除してください。

エアーフィルターは2枚重ね（A、B）です。

4 エアーフィルターカバーを元に戻す。

ご注意

エアーフィルターカバーが確実に装着されていないと、電源が入りません。

仕様

項目		項目説明
型名		VPL-SW535/SX535
投写方式		3LCD 方式
表示素子	有効表示サイズ	VPL-SW535：0.75 型（19.0 mm）、3 枚、アスペクト比 16：10 VPL-SX535：0.63 型（16.0 mm）、3 枚、アスペクト比 4：3
	有効画素数	VPL-SW535：3,072,000 画素（1280 × 800 ピクセル、3 枚） VPL-SX535：2,359,296 画素（1024 × 768 ピクセル、3 枚）
投写レンズ	ズーム	手動ズーム 約 1.05 倍
	フォーカス調整	手動
光源		高圧水銀ランプ 210 W 型
画面サイズ		VPL-SW535：70 ～ 130 型（1.78 m ～ 3.30 m） VPL-SX535：60 ～ 110 型（1.52 m ～ 2.79 m）
有効光束（明るさ）*1		3000 lm （ランプモード：高）
スピーカー		1 W × 1（モノラル）
対応走査周波数 *2		水平：14 ～ 93 kHz、垂直：47 ～ 93 Hz
表示可能解像度 *2	コンピューター信号入力時	最大入力解像度：1600 × 1200 ピクセル（リサイジング表示） パネル表示解像度： VPL-SW535：1280 × 800 ピクセル VPL-SX535：1024 × 768 ピクセル
	ビデオ信号入力時	NTSC、PAL、SECAM、480/60i、576/50i、480/60p、576/50p、720/60p、720/50p、1080/60i、1080/50i、1080/60p、1080/50p
カラー方式		$NTSC_{3.58}$、PAL、SECAM、$NTSC_{4.43}$、PAL-M、PAL-N

項目		項目説明
型名		VPL-SW535/SX535
コンピューター／ビデオ入出力	入力 A	**RGB/Y PB PR 入力端子：**ミニ D-sub 15 ピン凹、同期付 G/Y 信号：1 Vp-p ± 2 dB、同期負、75 Ω 終端、RGB 信号 / PB PR 信号：0.7 Vp-p ± 2 dB、75 Ω 終端、同期信号：TTL レベル ハイインピーダンス、正負極性 **音声入力端子：**ステレオミニジャック、定格入力 500 mVrms、入力インピーダンス 47 kΩ 以上
	入力 B（VPL-SW535 のみ）	**HDMI 入力端子：**HDMI 19 ピン、HDCP、HDMI audio 対応
	入力 B（VPL-SX535 のみ）	**RGB 入力端子：**ミニ D-sub 15 ピン 凹、RGB 信号：0.7 Vp-p ± 2 dB、75 Ω 終端、同期信号：TTL レベル ハイインピーダンス、正負極性 **音声入力端子：**ステレオミニジャック、定格入力 500 mVrms、入力インピーダンス 47 kΩ 以上
	S ビデオ入力	**S ビデオ入力端子：**ミニ DIN 4 ピン、Y 信号：1 Vp-p ± 2 dB、同期負、75 Ω 終端、C 信号：（バースト信号）0.286（NTSC）/0.3（PAL/SECAM）Vp-p ± 2 dB、75 Ω 終端 **音声入力端子：**ピンジャック× 2、定格入力 500 mVrms、入力インピーダンス 47 kΩ 以上
	ビデオ入力	**ビデオ入力端子**：ピンジャック、1 Vp-p ± 2 dB、同期負、75 Ω 終端 **音声入力端子：**S ビデオ入力と共用
	出力	**モニター出力端子：**ミニ D-sub 15 ピン凹、同期付 G/Y 信号：1Vp-p ± 2 dB 、同期負、75 Ω 終端、RGB 信号 /PB PR 信号：0.7 Vp-p ± 2 dB、75 Ω 終端、同期信号：HD、VD 4 V（オープン）、1 Vp-p（75 Ω）、正負極性 **音声出力端子：**ステレオミニジャック、ステレオ、1 Vrms（ボリューム最大、500 mVrms 入力時）、出力インピーダンス 5 kΩ
その他の端子		**RS-232C 端子：**D-Sub 9 ピン凸
		LAN 端子：RJ45、10BASE-T/100BASE-TX
使用温度（使用湿度）		0 ～ 40 ℃（35 ～ 85%（結露なきこと））

項目	項目説明
型名	**VPL-SW535/SX535**
保存温度 (保存湿度)	− 20 〜 +60 ℃（10 〜 90%（結露なきこと))
電源	VPL-SW535：AC 100 V、3.3 A、50/60 Hz VPL-SX535：AC 100 V、3.6 A、50/60 Hz
消費電力	VPL-SW535：290W/ VPL-SX535：310W
待機電力	VPL-SW535/SX535： 8.0 W（スタンバイモード「標準」時）／ 0.3 W（スタンバイモード「低」時)
発熱量	VPL-SW535：989 BTU VPL-SX535：1,057 BTU
標準外形寸法 (幅×高さ×奥行き)	約 384.4 × 161.1 × 423.4 mm 約 384.4 × 122.5 × 423.4 mm（突起部含まず)
質量	約 7.0 kg
付属品	簡易説明書の「付属品を確かめる」をご覧ください。
別売りアクセサリー[*3*4]	**プロジェクターランプ LMP-E212（交換用)**

ご注意

*1 出荷時における本製品全体の平均的な値を示しており、JIS X6911:2003 データプロジェクターの仕様書様式にのっとって記載しています。測定方法、測定条件については附属書 2 に基づいています。

*2 詳細は、対応信号表をご覧ください（49 ページ)。

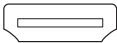
*3 ここに記載されている別売りアクセサリーは、2011 年 10 月現在のものです。

*4 別売アクセサリーの中には、国・地域によって販売されていないものがあります。ソニーの相談窓口に確認してください。

本機（別売アクセサリーを含む）の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

お使いになる前に、必ず動作確認を行ってください。故障その他に伴う営業上の機会損失等は保証期間中および保証期間経過後にかかわらず、補償はいたしかねますのでご了承ください。

ピン配列

HDMI 端子（HDMI、凹）

1	T.M.D.S. Data2 +	11	T.M.D.S. Clock Shield
2	T.M.D.S. Data2 Shield	12	T.M.D.S. Clock −
3	T.M.D.S. Data2 −	13	CEC
4	T.M.D.S. Data1 +	14	RECERVED (N.C.)
5	T.M.D.S. Data1 Shield	15	SCL
6	Data1 −	16	SDA
7	T.M.D.S. Data0 +	17	DDC/CEC GND
8	T.M.D.S. Data0 Shield	18	+5V Power
9	T.M.D.S. Data0 −	19	Hot Plug Detect
10	T.M.D.S. Clock +		

RGB 入力端子（ミニ D-sub 15 ピン、凹）

1	映像入力 （赤）R	9	DDC 用 電源入力
2	映像入力 （緑）G	10	接地
3	映像入力 （青）B	11	接地
4	接地	12	DDC/SDA
5	RESERVE	13	水平同期信号
6	接地（赤用）	14	垂直同期信号
7	接地（緑用）	15	DDC/SCL
8	接地（青用）		

RS-232C 端子（D-Sub 9 ピン、凸）

1	NC	6	NC
2	RXDA	7	RTS
3	TXDA	8	CTS
4	DTR	9	NC
5	GND		

対応信号一覧 *1

コンピュータ信号

信号名	VPL-SW535 入力端子		VPL-SX535 入力端子	
	RGB/YP_BP_R	HDMI	RGB/YP_BP_R	RGB
VGA-1 (VGA350)	●		●	●
VESA 85 (VGA350)	●		●	●
VGA-2 (TEXT)/VESA70	●		●	●
VESA 85 (VGA400)	●		●	●
VESA 60	●	●	●	●
Mac 13	●		●	●
VESA 72	●		●	●
VESA 75 (IBM M3)	●		●	●
VESA 85 (IBM M4)	●		●	●
800 × 600 VESA 56	●		●	●
800 × 600 VESA 60	●	●	●	●
800 × 600 VESA 72	●		●	●
800 × 600 VESA 75 (IBM M5)	●		●	●
800 × 600 VESA 85	●		●	●
Mac 16	●		●	●
XGA VESA 60	●	●	●	●
XGA VESA 70	●		●	●
XGA VESA 75	●		●	●
XGA VESA 85	●		●	●
1152 × 864 VESA 70	●		●	●
1152 × 864 VESA 75	●		●	●
1152 × 864 VESA 85	●		●	●
SUN LO	●		●	●
1280 × 960 VESA 60	●	●	●	●
1280 × 960 VESA 75	●		●	●
SXGA VESA 60	●	●	●	●
SXGA VESA 75	●		●	●
SXGA VESA 85	●		●	●
SXGA+/60	●	●	●	●
UXGA VESA 60	●	●	●	●
1280 × 768/60	●	●	●	●
1280 × 720/60	●	●*2	●	●
1920 × 1080/60		●*3		
1366 × 768/60	●	●	●	●
1440 × 900/60	●	●	●	●
1280 × 800/60	●	●	●	●

デジタル TV 信号

信号名	VPL-SW535 入力端子		VPL-SX535 入力端子
	RGB/YP_BP_R	HDMI	RGB/YP_BP_R
480/60i	●	●	●
576/50i	●	●	●
480/60p(倍速 NTSC)	●	●	●
576/50p(倍速 PAL)	●	●	●
1035/60i, 1080/60i	●	●	●

信号名	VPL-SW535		VPL-SX535
	入力端子		入力端子
	RGB/ YP_BP_R	HDMI	RGB/ YP_BP_R
1080/50i	●	●	●
720/60p	●	●	●
720/50p	●	●	●
1080/60p		●	
1080/50p		●	

アナログ TV 信号

信号名	VPL-SW535	VPL-SX535
	入力端子	入力端子
	Video/ Svideo	Video/ Svideo
60Hz	●	●
50Hz	●	●

ご注意

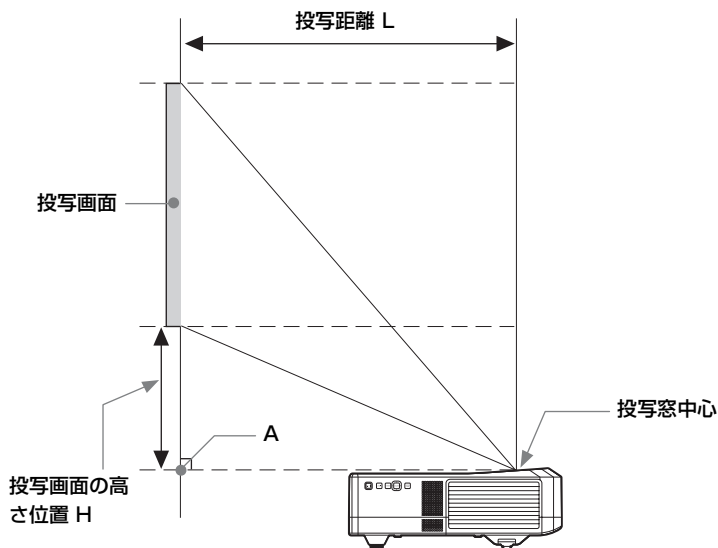
*1：・表に記載されていない信号を入力した場合、画像を正しく表示できないことがあります。
・パネル表示解像度と異なる入力信号では、入力信号そのままの解像度での表示はされず、文字や罫線の太さなどが不均一となる場合があります。

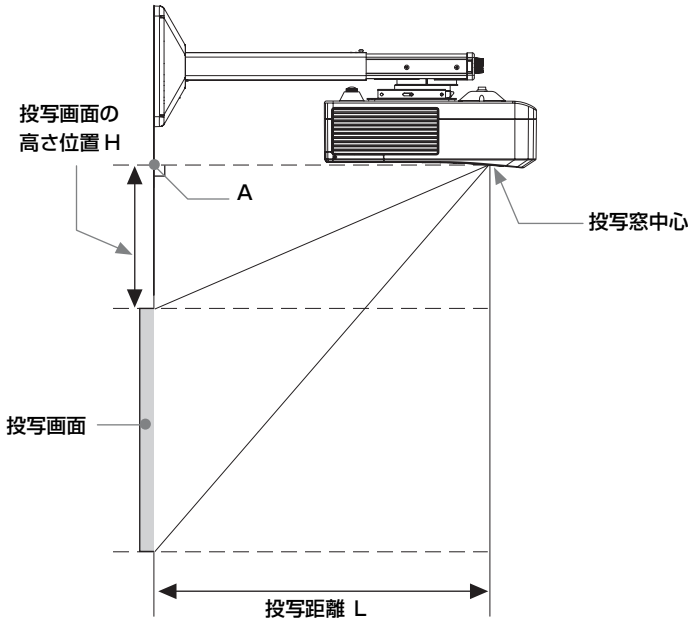
*2：720/60p の動画配信信号として識別されます。

*3：1080/60p の動画配信信号として識別されます。

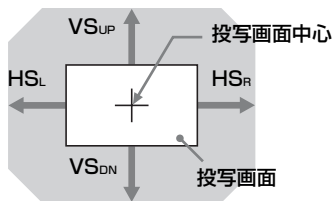
投写距離とレンズシフト量

投写距離は、投写窓中心から投写面までの距離です。投写する画面のサイズごとの投写距離と投写画面の高さ位置を示します。投写画面の高さは、投写窓中心から投写する面に対して垂直に引いた線と投写する面が交差する位置（図中 A）から投写画面の下端（壁設置時は上端）までの距離です。

床置き設置時

その他

壁設置時

L：投写距離

H：投写窓中心からスクリーン端までの高さ

レンズシフト量は、投写画面の中心を「0」とした場合、そこからどれくらい動かせるかを、投写画面の「全高」または「全幅」を 100% とし、その距離をパーセントで表します。

網掛け:移動できる範囲

VSUP：垂直レンズシフト量（上）[%]

VSDN：垂直レンズシフト量（下）[%]

HSR：水平レンズシフト量（右）[%]

HSL：水平レンズシフト量（左）[%]

投写距離表（VPL-SW535）

単位：m

画面サイズ		投写距離 L	投写画面の高さ位置 H
対角 D	横×縦		
70 型 (1.78m)	1.51 × 0.94	0.416-0.428	0.138
80 型 (2.03m)	1.72 × 1.08	0.475-0.489	0.159
90 型 (2.29m)	1.94 × 1.21	0.534-0.550	0.179
100 型 (2.54m)	2.15 × 1.35	0.594-0.611	0.200
130 型 (3.30m)	2.80 × 1.75	0.771-0.795	0.262

投写距離計算式（VPL-SW535）

D：投写画面サイズ（対角）

H：投写窓中心からスクリーン端までの高さ

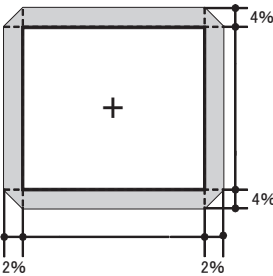
計算式 1

単位：m

投写距離 L（最短）	投写距離 L（最長）
L=0.005931 × D-0.0001	L=0.006119 × D-0.0001

計算式 2

投写画面の高さ位置 H
H=0.00207 × D-0.00674

レンズシフト量（VPL-SW535）

$VS_{UP}[\%]=VS_{DN}[\%]=4 - 2.000 \times (HS_{R}[\%] \text{ or } HS_{L}[\%])$

$HS_{R}[\%]= HS_{L}[\%]=2 - 0.500 \times (VS_{UP}[\%] \text{ or } VS_{DN}[\%])$

その他

投写距離表（VPL-SX535）

単位：m

画面サイズ		投写距離 L	投写画面の高さ位置 H
対角 D	横×縦		
60 型 (1.52m)	1.22 × 0.91	0.424-0.436	0.163
70 型 (1.78m)	1.42 × 1.07	0.495-0.509	0.192
80 型 (2.03m)	1.63 × 1.22	0.566-0.581	0.220
90 型 (2.29m)	1.83 × 1.37	0.636-0.654	0.249
110 型 (2.79m)	2.24 × 1.68	0.778-0.800	0.305

投写距離計算式（VPL-SX535）

D：投写画面サイズ（対角）

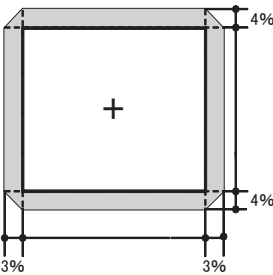
H：投写窓中心からスクリーン端までの高さ

計算式 1　　単位：m

投写距離 L（最短）	投写距離 L（最長）
L=0.007067 × D-0.0001	L=0.007275 × D-0.0001

計算式 2

投写画面の高さ位置 H
H=0.00284 × D-0.00674

レンズシフト量（VPL-SX535）

$VS_{UP}[\%]=VS_{DN}[\%]=4 - 1.333 \times (HS_R[\%] \text{ or } HS_L[\%])$

$HS_R[\%] = HS_L[\%]=3 - 0.750 \times (VS_{UP}[\%] \text{ or } VS_{DN}[\%])$

寸法図

本体上面

384.4

137.7

115.3

423.4

ON/STANDBY LAMP/COVER

投写窓中心

単位：mm

本体側面

本体底面

投写窓中心

180

71

16

6.6

51.3

211.3

253.4

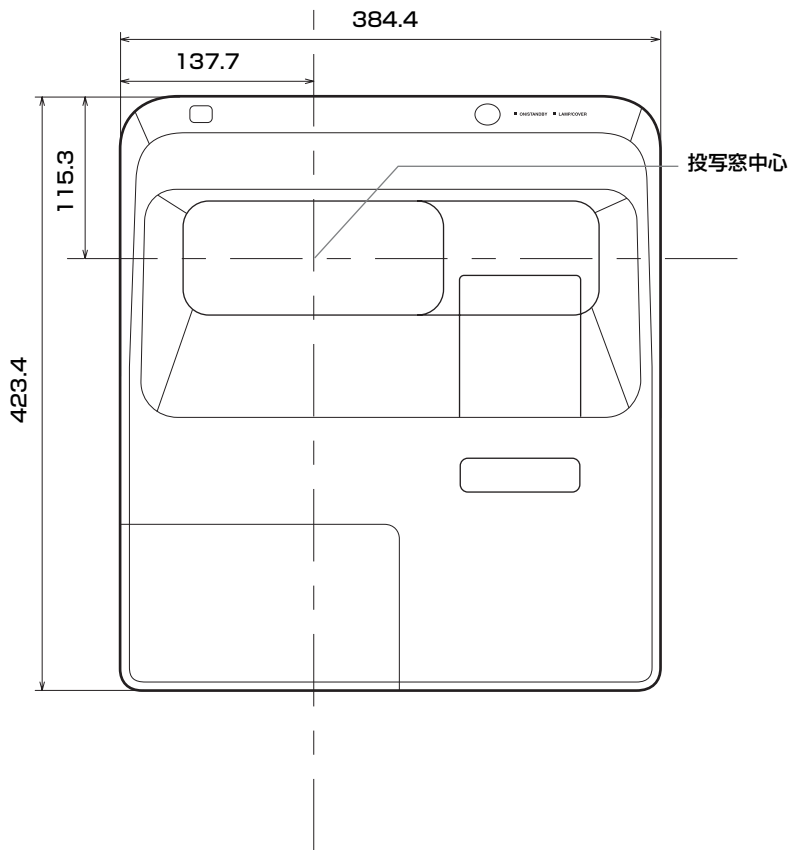
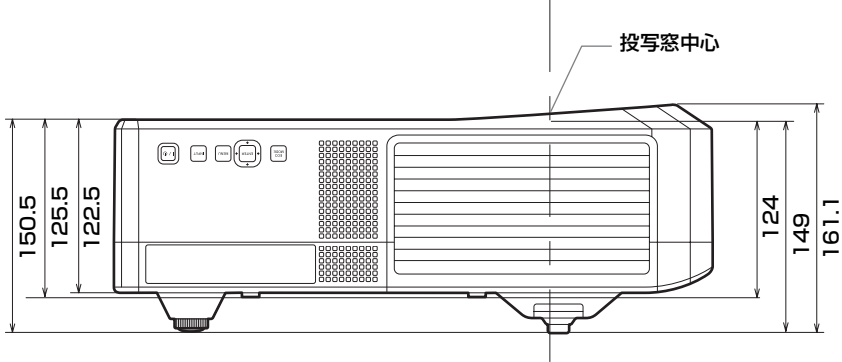
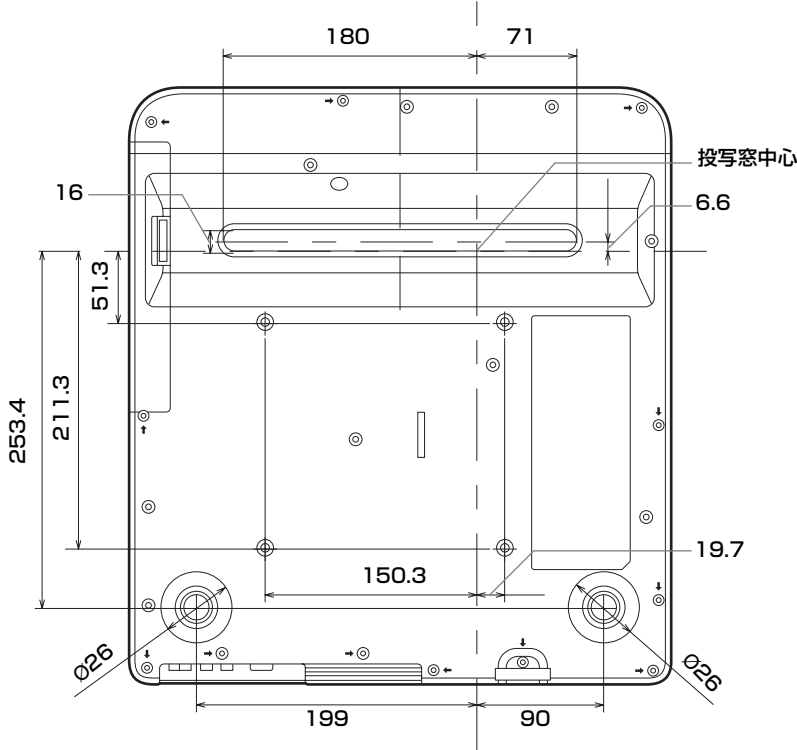
150.3

19.7

Ø26

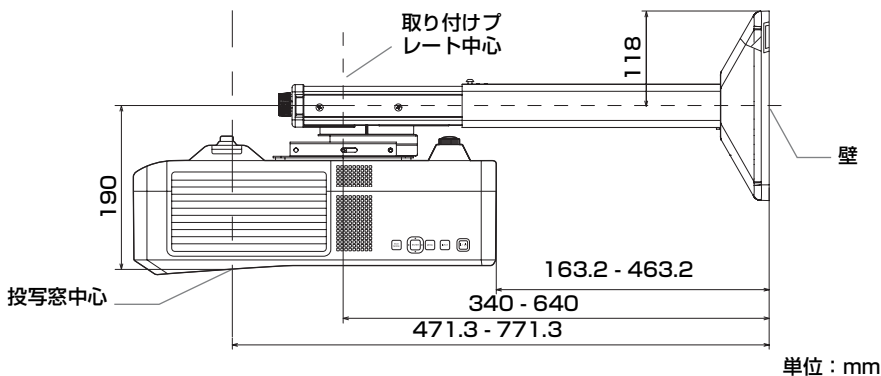
Ø26

199

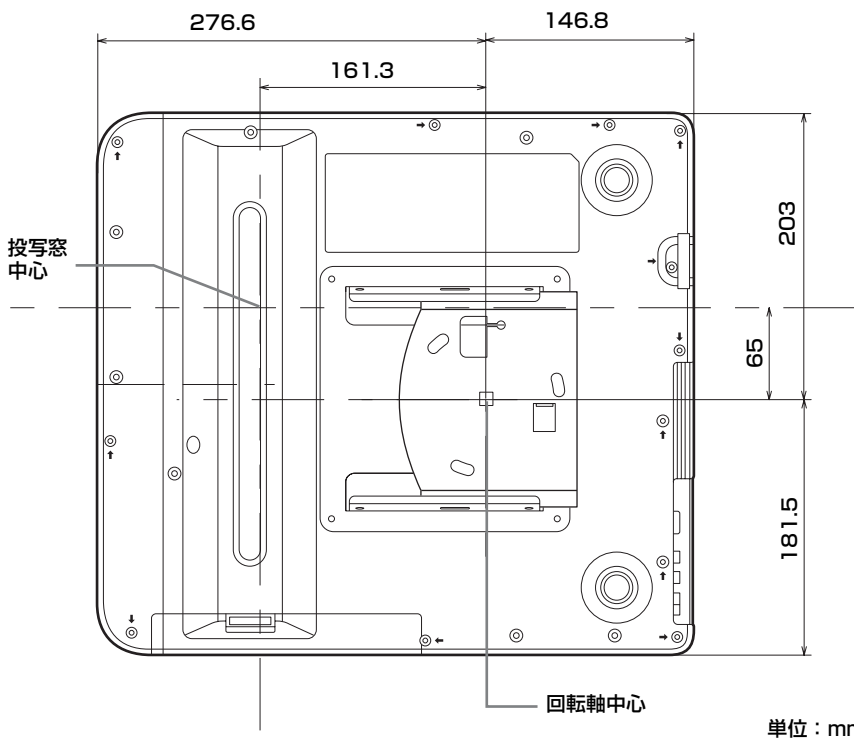
90

単位：mm

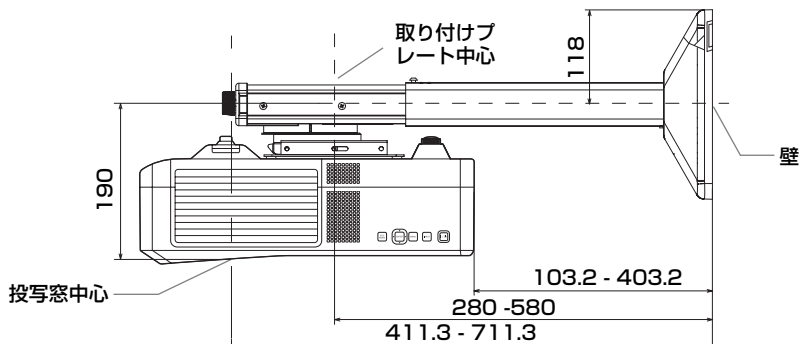
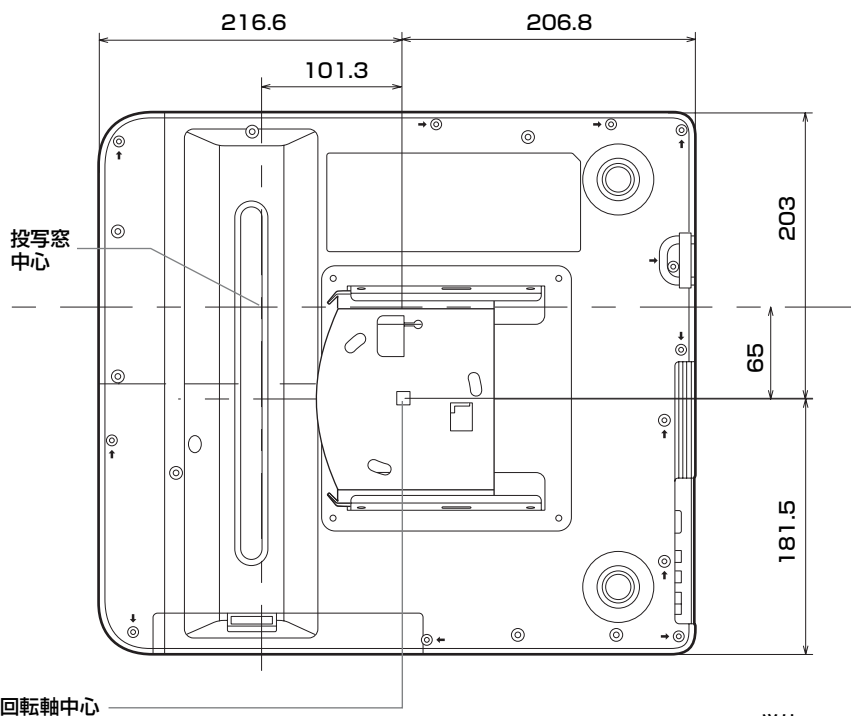
⚠注意

壁への取り付け、移動は絶対に自分で行わないでください。必ずソニーの相談窓口にご相談ください。（有料）

壁付け金具使用時　側面（アーム部分を A の方法（取り付けプレートの中心から壁までの距離が 340 ～ 640 mm）で固定した時）

単位：mm

壁付け金具使用時　底面（アーム部分を A の方法（取り付けプレートの中心から壁までの距離が 340 ～ 640 mm）で固定した時）

276.6
146.8
161.3
投写窓中心
203
65
181.5
回転軸中心

単位：mm

壁付け金具使用時　側面（アーム部分を B の方法（取り付けプレートの中心から壁までの距離が 280 ～ 580 mm）で固定した時）

壁付け金具使用時　底面（アーム部分を B の方法（取り付けプレートの中心から壁までの距離が 280 ～ 580 mm）で固定した時）

216.6
206.8
101.3
投写窓
中心
203
65
181.5
回転軸中心
単位：mm

保証書とアフターサービス

保証書

・この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
・所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを → 「故障かな？と思ったら」の項を参考にして、故障かどうかお調べください。
それでも具合の悪いときは → お買い上げ店またはソニーの相談窓口（裏表紙）にご相談ください。
保証期間中の修理は → 保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。ただし、本機には消耗部品が含まれております。保証期間中でも長時間使用による消耗部品の交換は、有料になる場合があります。詳しくは保証書をご覧ください。
保証期間経過後の修理は → 修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

索引

あ

か

さ

た

な

は

ま

ら

A

C

H

L

R

商標について

・Adobe、Adobe Acrobat は Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。
・Internet Explorer は米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。
・PJLink は社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会の登録商標です。
・AMX は、AMX Corporation の商標です。
・その他のシステム名、製品名は、一般的に各開発メーカーの商標あるいは登録商標です。なお、本文中では ™、® マークは明記していません。

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などは
ホームページをご活用ください。

http://www.sony.co.jp/support

使い方相談窓口

フリーダイヤル・・・・・・・・・・・・・・・・0120-333-020
携帯電話・PHS・一部のIP電話・・・ 0466-31-2511

修理相談窓口

フリーダイヤル・・・・・・・・・・・・・・・・0120-222-330
携帯電話・PHS・一部のIP電話・・・ 0466-31-2531

※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

左記番号へ接続後、
最初のガイダンスが
流れている間に
「203」+「#」
を押してください。
直接、担当窓口へ
おつなぎします。

FAX（共通） 0120-333-389

ソニー株式会社　〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

http://www.sony.co.jp/